

# エコアクション21・環境経営レポート

(対象期間：2021年10月～2022年9月)

発行日：2022年12月1日



認証番号 0012359

## 山本松産業株式会社



 **YAMAMOTOMATSU**  
Bedding making & cleaning

# 目次

ご挨拶	---1
SDGS 未来への約束	---2
1・事業の概要	---3
2・環境経営方針	---4
3・組織	---5
4・主な環境負荷の実績	---6
5・環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と 評価、並びに次年度の環境目標及び環境経営計画	-6
(1) 環境経営目標及び当期の実績	-6
(2) 主要な環境活動計画の内容と取り組み結果の評価	-7
(3) 次年度の主要な環境活動計画の内容	-8
6・環境関連法規などの遵守状況の確認、評価の結果、 違反、訴訟などの有無	--9
7・地域などの環境活動の一例	--10
8・総括(代表者による全体の評価と見直し・指示)	--12



## ご挨拶 Greeting

当社は、創業96年、昭和32年より続いている製綿業の枠を超えて、医療機関や福祉施設・教育機関・官公庁などの企業向けレンタル布団と一般のお客様向け商品の企画（通信販売）と、縫製加工並びに寝装寝具用品の製造販売をしております。

近年、厳しい経済情勢・激変する社会状況において製造現場が大きく変わってきました。国内では1000社を下回ってメーカーは減少してきました。超高齢化社会においては消費構造の変化が予測され、「安心」・「清潔」・「安全」な商品を誠実に作ることをモットーとしております。

今、国民の皆様が重要視しているのは、「健康」であり「介護」、「快眠」であります。単に寝るためだけでなく健康増進、美容そして環境など多角的な見地から見て商品開発を目指し、これまでも4R活動をしております。

2016年からエコアクション21に取り組みを始めました。その要因は2点あります。

1 番目は、粗大ごみとして捨てられる布団の中綿をリメイクし快眠布団として商品販売させて頂いていることです。本業が自然循環型の再興に寄与することが要因の一つです。

2 番目は、組織経営をする中で、役割分担をして PDCA サイクルを回すことにより、共に育つ社員育成や、風通しの良い風土作りに取り組みながら、生産性の向上が挙げられます。環境に優しいもの作りで社会に貢献することが自社にとり意義があり、経営理念として掲げております。

この間、取り巻く環境も大きく変化し、自然災害や気候変動に伴う異常気象が起こっております。地球温暖化等の環境問題に対し、当社においても未来を切り拓く子供達や世界の人々の幸せのために、2015年のニューヨークの国連本部で開催された「持続可能な開発サミット」の行動目標は、目が離せないと感じました。地球規模で取り組むべき国際目標「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）略してSDGsは世界を変える道しるべであり、当社も、SDGsを指針として企業の根幹に置きます。目標達成に向けて行動して参ります。これからもステークホルダーや地域と共に歩み社会に貢献して参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

山本松産業株式会社  
代表取締役 山本 康雅



## SDG s 未来への約束

Sustainable (持続可能な)・Development (開発)・GoaiS (目標：到達点)

- ・当社は、多様な人たちが共に尊重しながら活躍できる社会をめざします
- ・当社は、事業活動を通して、持続可能な社会の実現に努めます
- ・当社は、エコアクション21等の環境への取り組みを通して環境負荷の低減に努めます
- ・当社は、環境に優しいモノづくりで地域社会に貢献します



SDG s の取り組み		
テーマ	取り組み	関連するSDG s
貧困をなくそう	雇用を守り維持発展させる企業を目指す。途上国からインド綿・メキシコ綿を仕入れている。リサイクル布団においては、一般販売の売上げの1%を慈善活動に寄付する。	
平和と校正・餓死をゼロに	一般販売においては、サステイナブルな商品の売上げ金の1%を国境なき医師団と日本赤十字社奈良県支部に寄付している。	 
全ての人に健康と福祉を・不平等をなくす	2022年健康優良法人ブライト500認定。仕事と治療の両立支援。女性活躍推進クラブ認定登録。社員シャイン認定登録。人権と女性の地位向上をめざし奉仕活動をしている。保健と救命の向上、貧困の軽減と予防、優れた市民性と地域社会の向上につとめ活動をしている。	  
作る責任使う責任	ゴミとして捨てられる布団の中綿を健康寝具としてリメイクし商品販売している。半端な生地を使用して布巾・マスク・汚れ防止材として活用。無人駅に座布団配布・保養施設寄付	
住み続けられるまちづくり	地域清掃活動に参加。雇用を守り社員の生活と幸福に寄与する。	
質の高い教育を	全社員が環境に取り組むことの重要性を理解し、省エネや廃棄物削減などに取り組んでいる	       



## 1. 事業の概要

### (1) 名称及び代表者名

山本松産業株式会社  
代表取締役 山本 康雅

### (2) 所在地

本 社 〒632-0052 奈良県天理市柳本町889-1  
工 場 同 上

### (3) 事業内容

企業様向け布団の製造・卸及び販売・商品企画  
一般のお客様向け寝装寝具の製造販売・布団のクリーニング・通信販売

### (4) 創 業 : 昭和32年10月31日

設 立 : 昭和62年11月12日

### (5) 環境活動の範囲

事業	寝装寝具の製造・卸及び販売
範囲	全組織・全活動

### (6) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	専務取締役 山本 玲子
担当者	同上
電話・ファックス	TEL:0743-67-0341 FAX:0743-67-0342

### (7) 事業の規模

資本金 : 1000万円  
従業員 : 10人 (正社員4人 パート6人)  
工場敷地面積:1153.7m<sup>2</sup> 建床面積:870.98m<sup>2</sup>  
駐車場 :221m<sup>2</sup>

### (8) 事業年度

10月～翌年9月

## 2. 環境経営方針

### 【当社の理念】

当社は、快眠布団を普及する事で、多くの方の健康に寄与し、布団のリフォームというリサイクルシステムにより、環境への取り組みをします。地球温暖化の防止においては、資源循環型企業を目指し、社会のニーズに的確に対応します。

以上のことから、環境省が定めるエコアクション21（環境マネジメントシステム）を環境活動として実践、継続的な取り組みを実施します。社員一同が誇りを持って社会にお役に立つ環境経営を実行し、環境負荷の低減と汚染の予防を図り下記のように環境方針を定めます。

### 【環境経営方針】

1・エコアクション21に基づき、環境関連の法令、条例等の規制事項を遵守し、地域や顧客の環境関連要求に配慮して、環境活動の継続的な改善を図ります。地域貢献 については、環境経営システムを取り入れ計画的に実施します。

2・4つの目標及び計画を実施します。

- ① 廃棄物の減量化と分別によるリサイクルに努めます。
- ② 電力使用量の削減と運搬車両等の燃料削減に努めます。
- ③ 用水の使用量削減に努めます。
- ④ 生産・販売する製品の環境性能の向上に努めます。

3・環境コミュニケーションを通じて、環境活動の状況を内外に伝達します。

4・全従業員に、環境方針を周知します。

5・4Rを推奨します。

Refuse 不要なもの余計なものはいりません。

Reduce ゴミを減らす。

Reuse まだ使えるものは繰り返し使う。

Recycle 資源としてまた利用する。

6・SDGsを取り入れながらエコアクション21の取り組みをする。

7・環境への取り組みを適切に実行する為の人員、経営資源を準備します。

8・環境に経営を位置つけて環境経営推進をめざし、経営における課題とチャンスを明確にして環境への取り組みを反映させます。

改訂2・2021年11月10日

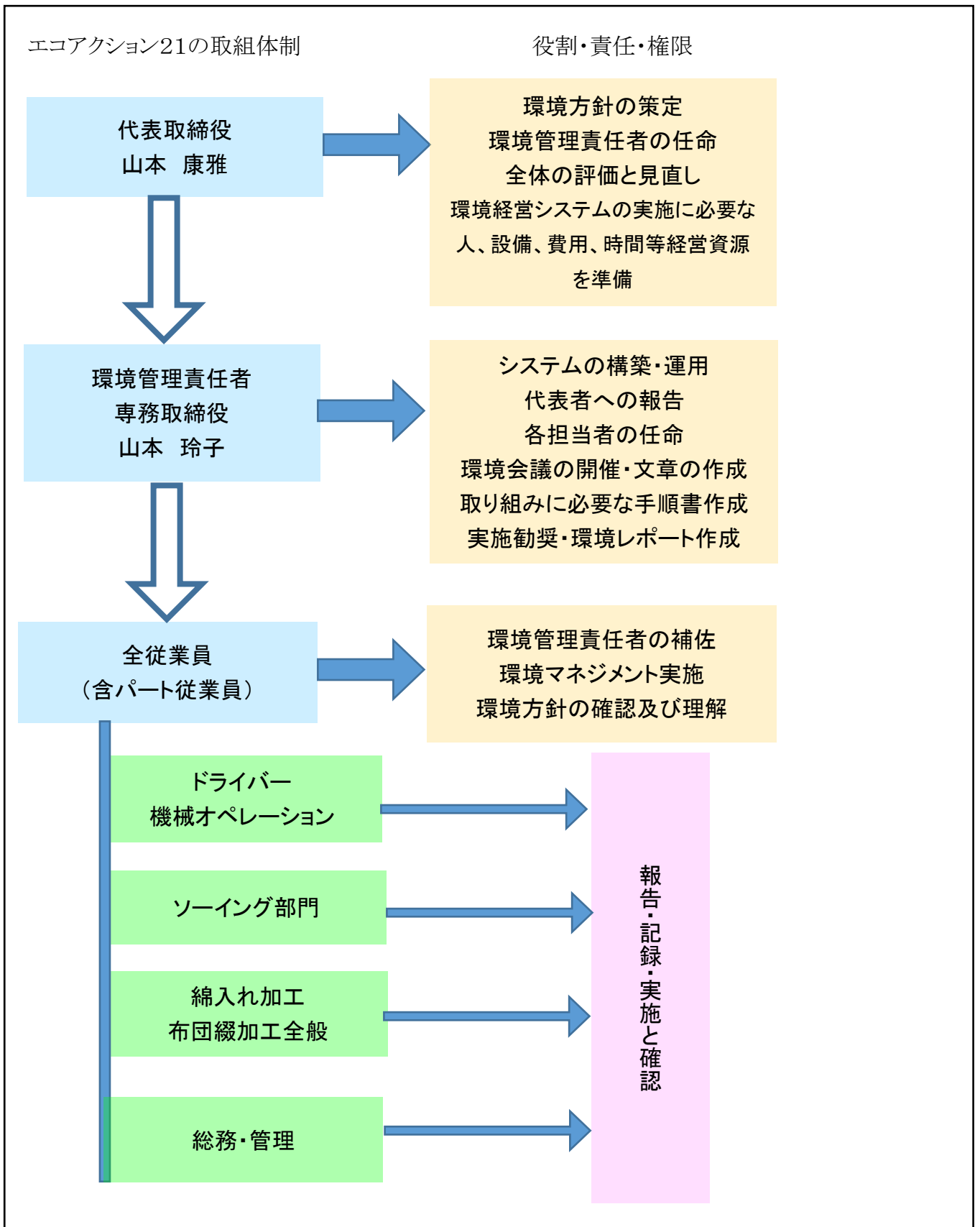
改訂1・2021年6月10日

制定日・2017年9月30日

山本松産業株式会社 代表取締役 山本 康雅



### 3. 組織



#### 4. 主な環境負荷の実績

※CO2 排出係数は、2016 年度の関西電力の調整後排出係数 0.493kg-CO2/kWh を使用しています。

※総排水量については、30期(2016年10月～2017年9月)は水漏れの為、29期(2017年10月～2018年9月)の水量を基準にした。

項目	単位	30期 2016年10月～ 2017年9月迄	31期 2017年10月～ 2018年9月迄	32期 2018年10月～ 2019年9月迄	33期 2019年10月～ 2020年9月迄	34期 2020年10月～ 2021年9月迄
		実績	実績	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO <sub>2</sub>	31,362	35,588	33,150	31,112	31,409
一般廃棄物排出量	Kg	8,190	7,020	7,930	6,690	6,020
※総排水量	m <sup>3</sup>	131	74	108	85	89
リサイクル布団	枚	71,106	68,261	70,128	64,305	74,001

#### 5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

	単位	33期 2019年10月～ 2020年9月迄	34期 2020年10月～ 2021年9月迄		35期 2021年10月～ 2022年9月迄		36期 2022年10月～ 2023年9月迄	
		(基準年度)	増減率 (目標)	(実績)	増減率 (目標)	(実績)	増減率 (目標)	(実績)
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	電力の削減	kWh	48,557	- 0.5%	- 4.4%	- 1.0%	+ 14.0%	- 1.5%
			48,314		46,186	48,071	55,338	47,829
	ガソリンの削減	L	1,192	- 0.5%	- 5.3%	- 1.0%	+ 4.6%	- 1.5%
			1,186		1,124	1,181	1,247	1,175
軽油の削減	L	1,708	- 0.5%	+ -37.6%	- 1.0%	+ 52.1%	- 1.5%	
			1,700		2,338	1,691	2,598	1,683
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	31,112	- 0.5%	+ -1.5%	- 1.0%	+ 18.5%	- 1.5%	
			30,957		31,409	30,801	36,879	30,646
一般廃棄物の削減	kg	6,690	- 0.5%	- 9.6%	- 1.0%	+ 23.5%	- 1.5%	
			6,657		6,020	6,623	8,260	6,590
※水道水の削減	m <sup>3</sup>	85	- 0.5%	+ -7.9%	- 1.0%	- -16.5%	- 1.5%	
			82		89	84	71	84
リサイクル布団の促進 (販売促進で増加)	枚	64,305	+ 0.5%	+ 14.5%	+ 1.0%	+ 5.8%	- 8.0%	
			64,627		74,001	64,948	68,064	59,161
リサイクル品寄贈	回	実態把握		1	3	1	5	1
地域清掃活動			1	2	1	2	1	

##### (1) 環境経営目標及び当期の実

※CO2 排出係数は、H28 年度の関西電力の調整後排出係数 0.493kg-CO2/kWh を使用しています。

※化学物質 (PRTR 法対象物質) は使用していません。

数値目標は設定せず、定性的取り組みとして「適正管理」としています。

(2) 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価 <<35期:2021年10月～2022年9月>>

注) 化学物質は使用していないため、取り組みはしていない。

大変よくできた◎ よくできた○ ほぼできている△ できなかった×

項目		取組内容	増減率	取組評価	結果の評価
C 0 2 量 の 削 減	電力の削減		+ 14.0%	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成</li> <li>・デマンドを取り外した為警告が出なくなり暖房運転時間が増えた</li> <li>・キュービクル交換でデマンドの警告が無くなった為・設備の稼働率が増えた</li> </ul>
	目標	48,071kWh			
	実績	55,338kWh			
	ガソリンの削減		+ 4.6%	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業時間が増えた</li> </ul>
	目標	1,181L			
	実績	1,247L			
	軽油の削減		+ 52.1%	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離に配達する為に増えた</li> </ul>
	目標	1,691L			
	実績	2,598L			
	CO2量の削減		+ 18.5%	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離に配達する為に増えた</li> </ul>
目標	30801kg-CO2				
実績	36879kg-CO2				
一般廃棄物の削減		- 23.5%	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成</li> <li>・分別リサイクルを強化する</li> </ul>	
目標	6,623kg				
実績	8,260kg				
水道水の削減		- 16.5%	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇を撤去した為、資料量が減少した</li> </ul>	
目標	84m <sup>3</sup>				
実績	71m <sup>3</sup>				
リサイクル布団の促進 (販売促進で増加)		+ 5.8%	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成した</li> </ul>	
目標	64,948枚				
実績	68,064枚				
リサイクル品の寄贈				◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き貢献活動を推奨する</li> </ul>
目標	1				
実績	5				
地域清掃活動				◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き貢献活動を推奨する</li> </ul>
目標	1				
実績	2				

(3) 次年度の主要な環境活動計画の内容

項目		取組内容
CO <sub>2</sub> 量の削減	電力の削減	
	目標	47,829kWh
	ガソリンの削減	
	目標	1,175L
	軽油の削減	
目標	1,683L	
CO <sub>2</sub> 量の削減		
目標	30646kg-CO <sub>2</sub>	上記の取り組み
一般廃棄物の削減		
目標	6,590kg	1.ゴミ分別の徹底 2.無駄をなくす 3.繰り返し使用する
水道水の削減		
目標	84m <sup>3</sup>	1.手洗い時の節水の徹底 2.トイレの二度流し防止
リサイクル布団の促進 (販売促進で増加)		
目標	59,161枚	1リサイクル布団の販売促進 2.リサイクル布団の品質向上
リサイクル品の寄贈		
目標	5	1.地域貢献活動として実施
地域清掃活動		
目標	1	1.地域貢献活動として実施

※リサイクル布団の布団は顧客の変動により製造枚数が減少する

## 6. 環境関連法規などの遵守状況の確認、評価の結果、違反、訴訟などの有無

### (1) 当社に適用となる主な環境関連法規等

	法律、条例名	遵守すべき事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物及び産業廃棄物の表示と分別管理</li> <li>一般廃棄物処理業者は市町村長の許可の確認</li> </ul>	遵法
2	騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音規制基準の遵守</li> <li>対象特定施設の届出</li> </ul>	遵法
3	消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防用設備等の点検・報告</li> <li>火災報知機・屋内消火栓の設置</li> </ul>	遵法
4	資源リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本理念と事業者の責務</li> </ul>	遵法
5	フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な運転管理での漏えい防止</li> <li>・ エアコンの簡易点検</li> </ul>	遵法

### (2) 違反・訴訟等の有無

- ・ 自社の事業活動に関する法令違反はありません。
- ・ 関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間なく、訴訟もありません。

※ 次回環境活動レポートの発行は、2023年12月の予定です。

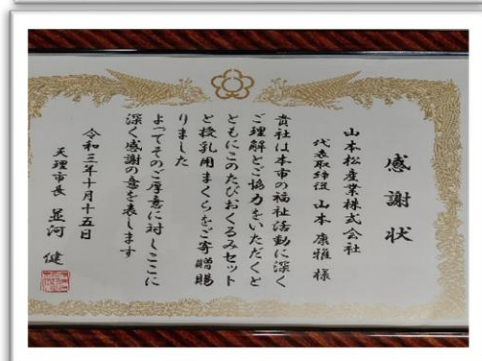
## 7. 地域等の環境活動の一例



- 2022年 8月
- 2021年 12月  
清掃活動  
場所:奈良県天理市柳本町当社から  
JR柳本駅周辺



- 2021年 10月(座布団制作)
  - 2021年 11月(座布団配置)  
配置場所:JR柳本駅・長柄駅・纏向駅・三輪駅
  - 2022年 5月座布団回収
- ※無人駅に配置した座布団は、梅雨前に回収し、仕立直しをします。



- 2021年 10月 15日おくるみセットと授乳枕用ご寄贈  
させて頂きました。



2022  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ブライト500

- 2017年なら女性活躍推進倶楽部認定
- 2017年奈良県シャイン社員職場作り 推進企業認定
- 2019年健康優良法人認定
- 2020年健康優良法人認定
- 2021年健康優良法人ブライト 500 認定
- 2022年健康優良法人ブライト 500 認定

## 布団のリフォームで「子供たちの命を救う」



布団 1枚で栄養治療食.....  
はしかの予防接種.....



皆様より頂戴した一般のお客様向けリフォーム商品の売上金1%を「認定 NPO 法人」を通して寄付させて頂いております。

## 8. 総括(代表者による全体の評価と見直し・指示) 2022年12月1日

- ・環境経営目標及び取り組み計画

電力使用量は+14.0%、ガソリンは+4.6%、軽油が+52.1%廃棄物排出量は+23.5%になり、当年度は増えた。コロナ禍による行動規制が緩和され、事業も回復に向かい、発注数が増えた為。

軽油は大阪市内への配送が増え、目標を超過した。

水道量は花壇を撤去した為使用量が減少した。

従業員はエコアクション21の取り組みをしっかりとってくれていると評価する。

- ・環境経営方針は変更しない。

経営におけるチャンスと課題を踏まえることを環境経営方針に追加し、改訂しています。

- ・実施体制

現行の実施体制を継続します。

- ・今後の取り組み

- ・新型コロナウイルスも5類移行により、人々の行動も活発になり布団需要も回復していくと期待する。

このように安全、健康を第一にしてエコアクション21の活動も着実に推進してください。